

# いろんな経験を通して、 もっと町の魅力を感じたい。

飯南高校「鵬雲寮」3年生

吉賀臨太郎さん(伊丹市出身)と益原侑希さん(加古川市出身)に飯南町で生活した3年間の感想を聞きました。

インタビューを通して、飯南高校生と地域の人たちの交流やこの地の文化を知ってもらおう機会をもっと作らなければならぬと感じました。



吉賀さん



益原さん

## 飯南高校を選んだ理由は

飯南高校へ来ることは、自分で決めたのですが、県外生を受け入れる寮のある高校を探していて、島根県だけが受け入れてくれることを知り、その中でこの高校を選びました。

## 3年間を通じて

### 印象に残ったことは

半夏祭りはこの町の魅力の一つだと思いますが、県外生を含めた寮生は体験することができません。

県外生を受け入れる目的の一つは、この地の魅力を知ってもらうことにあるのではないかと

と思います。そういう人になぜ飯南のお祭りに行かせないのか、一番賑わいのある花火の時に真っ赤な花火の音が、校則、ルールはあるにしても町の目的と違うと思います。

僕はお祭りにどうしても行きたくて、兵庫県から親に来てもらって外泊し、一度だけ半夏を経験することができましたが、とても良かった、素晴らしいお祭りでした。

県外生がこの経験ができるようになれば、もっとこの町の魅力を感じることができるようになると思います。

この町を都会化しようとしているのか、自然を売りにしているのかよくわかりません。もし田舎に住むのなら、田舎らしい田舎に住みたいじゃないですか。

## 「もっと楽しくなる町に」

高校の近くの商店に駄菓子屋を置いてくれるようになりました。僕たちの好きなものを分かってもらえて嬉しくなりました。できればもう少し種類を増やしてもらえたらもっと嬉しくなります。3年間ありがとうございました。

## 今月の表紙写真



「美味しいから、つついおかわりを」と、笑顔でご飯の進む飯南高校「鵬雲寮」の二人をパチリ!!模擬試験を終えた藤川さん(右:3年生)と、クラブ活動から戻って昼ご飯の岡田さん(左:1年生)の二人が食べているお米は、角井で採れた食味値80以上の飯南米です。町内に親戚がある藤川さんは小さい頃から食べられたお米ですが、岡田さんは初めての食感に驚いたそうです。たくさん食べてね。

## 編集後記

あけましておめでとうございませう。本年も、よろしくお願ひします。

12月議会では7人の議員が質問に立ち、T・P・P問題や、教育、医療、町道整備問題、また、防災訓練や、公共交通体系の見直し等、様々な視点から質問しました。

さて、選挙権年齢引き下げに伴う若者の政治参加は、老若共同参画社会づくりに向けて、大変重要なことです。次世代を担う責任と自覚をもって投票に出かけて欲しいと思います。

議会としても、老若男女を問わず、全ての世代の意見を聞き、町政に反映出来るよう、活動に取り組んでいきます。

この冬は暖冬と言われているますが、急な降雪に注意し、屋根の雪下ろしなど、除雪作業による事故が起きないように十分気を付けてください。

議会広報編集委員会 高橋 英次